

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年3月24日(2016.3.24)

【公開番号】特開2014-153535(P2014-153535A)

【公開日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2013-23113(P2013-23113)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/1333 (2006.01)

G 0 2 B 7/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

F 2 1 Y 103/00 (2016.01)

【F I】

G 0 2 F 1/1333

G 0 2 B 7/00 K

G 0 2 F 1/13357

F 2 1 S 2/00 4 8 1

F 2 1 Y 101:02

F 2 1 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月4日(2016.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示パネルと、

前記表示パネルの背面側に配置され、前記表示パネルに光を照射する光源を収納する収納部材と、

前記表示パネルと前記収納部材との間に配置される光学シートと、
を備え、

前記光学シートは、周縁部に少なくとも 1 つの切欠き部を有し、

前記収納部材は、前記光学シートの前記切欠き部に対応する位置に凸部を有し、

前記切欠き部は、前記凸部に接触しないように設けられている

ことを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記切欠き部は、前記光学シートが前記光学シートの可動範囲内のいずれの位置に移動した場合でも、前記凸部に接触しないように設けられている

ことを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記凸部は、前記収納部材の一部が前記表示パネルに向かって延伸した部分である

ことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の表示装置。

【請求項 4】

前記光学シートと同一面上の面において、前記切欠き部と前記凸部との間の隙間の大き

さは、前記光学シートの可動範囲よりも大きい

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 5】

前記表示パネルを背面側から保持する保持部材を備え、

前記光学シートは、前記保持部材と前記収納部材との間に配置される

ことを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 6】

前記保持部材は、前記光学シートの周縁部に対応する内面を有しており、

前記切欠き部は、前記光学シートの周縁部が前記保持部材のいずれの内面に接触した場合でも前記光学シートが前記凸部に接触しないように設けられている

ことを特徴とする請求項 5 に記載の表示装置。

【請求項 7】

前記切欠き部が設けられた前記光学シートの第 1 の辺に垂直な方向において、前記第 1 の辺と、前記保持部材との間隙の大きさを A とし、前記切欠き部と凸部との間隙の大きさを B とした場合に、 $A < B$ である

ことを特徴とする請求項 5 または請求項 6 に記載の表示装置。

【請求項 8】

前記切欠き部が設けられた前記光学シートの第 1 の辺に沿った方向において、前記保持部材の内寸の幅の大きさを C とし、前記光学シートの外形の幅を D とし、前記切欠き部の幅を E とし、前記凸部の幅を F とした場合に、 $C - D < E - F$ である

ことを特徴とする請求項 5 乃至請求項 7 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 9】

前記切欠き部は、前記光学シートに複数個設けられている

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 8 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 10】

前記切欠き部は、前記光学シートの各辺に 1 または複数個設けられており、

前記光学シートの辺に設けられた前記切欠き部の位置は、前記辺と対向する辺に設けられた前記切欠き部の位置と異なる

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 9 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 11】

前記凸部が、複数の凸構造体から形成されている

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 10 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 12】

前記収納部材は、前記表示パネルを背面側から支える保持部材と、前記凸構造体を介して固定される

ことを特徴とする請求項 11 に記載の表示装置。

【請求項 13】

前記収納部材の材質は、金属である

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 12 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 14】

前記収納部材は、前記光学シートを支持する弾性部材を備える

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 13 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 15】

光を照射する光源を収納する収納部材と、

前記収納部材の前面に配置される光学シートと、
を備え、

前記光学シートは、周縁部に少なくとも 1 つの切欠き部を有し、

前記収納部材は、前記光学シートの前記切欠き部に対応する位置に凸部を有し、

前記切欠き部は、前記凸部に接触しないように設けられている

ことを特徴とする照明装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明の一実施形態の表示装置は、表示パネルと、前記表示パネルの背面側に配置され、前記表示パネルに光を照射する光源を収納する収納部材と、前記表示パネルと前記収納部材との間に配置される光学シートとを備える。前記光学シートは、周縁部に少なくとも１つの切欠き部を有する。前記収納部材は、前記光学シートの前記切欠き部に対応する位置に凸部を有する。前記切欠き部は、前記凸部に接触しないように設けられている。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

本発明の表示装置によれば、光学シートはその外周部によって位置決めされるとともに凸部との接触が回避される。したがって、光学シートを保持する接触面積が増えるとともに、接触する部位が分散されるので、光学シートからの発塵を軽減することができる。